根室新聞　平成17年6月9日(木曜日)

旭川医大の協力で児童生徒の耳鼻咽喉科検診実施

市教委

市教委は、旭川医大の協力のもと、市内二十の小中学校の児童生徒を対象に定期健康診断の一つ、耳鼻咽喉科検診を六日と七日の二日間に分けて実施した。市立根室病院に医師を派遣している旭川医科大が平成十二年から、病院外来とは別にこの学校健診のためだけに医師を派遣、今年も三人の医師が八会場を巡回して児童生徒六百五十人の健診を行った。

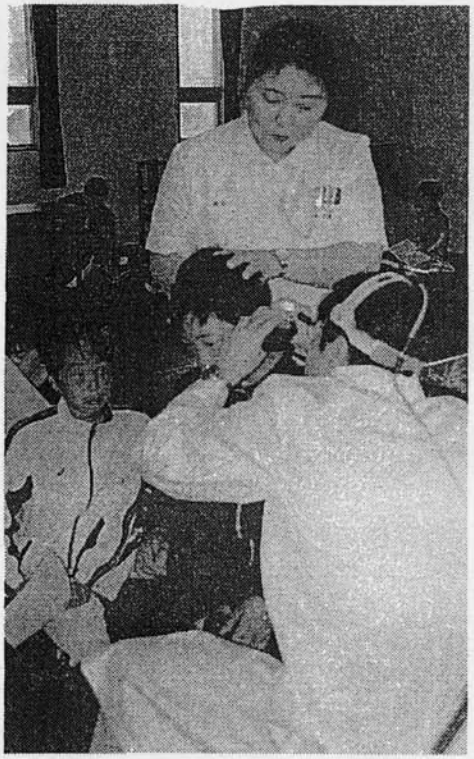
児童生徒の定期健康診断は、日常の健康管理と身体の異常の早期発見を図るため、市教委が市医師団（学校医）、市保健予防係、根室歯学会（学校歯科医）、市学校健診関係団体の協力を得て、毎年行われている。

耳鼻咽喉科検診に関しては、専門医師の不足から平成八年まで実施されていなかった。小学校は四年生、中学校は三年生を対象に、また、要経過観察が必要な児童生徒には毎年行っている。この健診で中耳炎や扁桃腺肥大などの異常が発見されることも多い。

今回は、一日目に歯舞中をはじめ、花咲小や光洋中など四会場で十一小中学校の三百三十一人の児童生徒を健診したほか、二日目は北斗小や啓雲中などを会場に九小中学校を対象に行った。

医師の問診前に、鼓膜の振動具合を器械で計ってグラフ化する耳科学検査を行った。この検査は五年前から、健診内容を充実させるため旭川医大側からの申し出で取り入れられた。

派遣された三人の医師は、児童生徒一人ひとりに鼻づまりはないか、アレルギーはないかなどを問診しながら、丁寧に健診を進めていた。（佐藤）



耳鼻咽喉科検診を受ける児童ら＝花咲小で